

事例で考えよう！

褥瘡治療ケア地域連携 それぞれが出来ること



千葉県循環器病センター

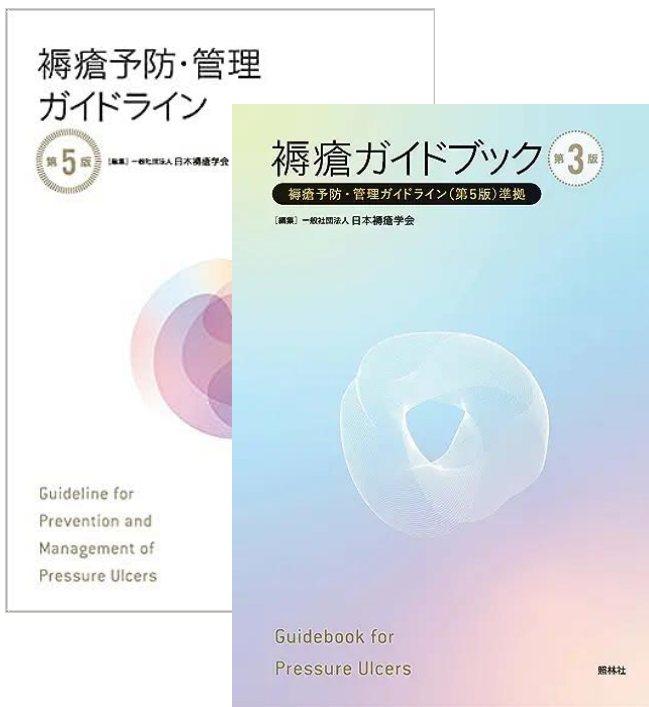
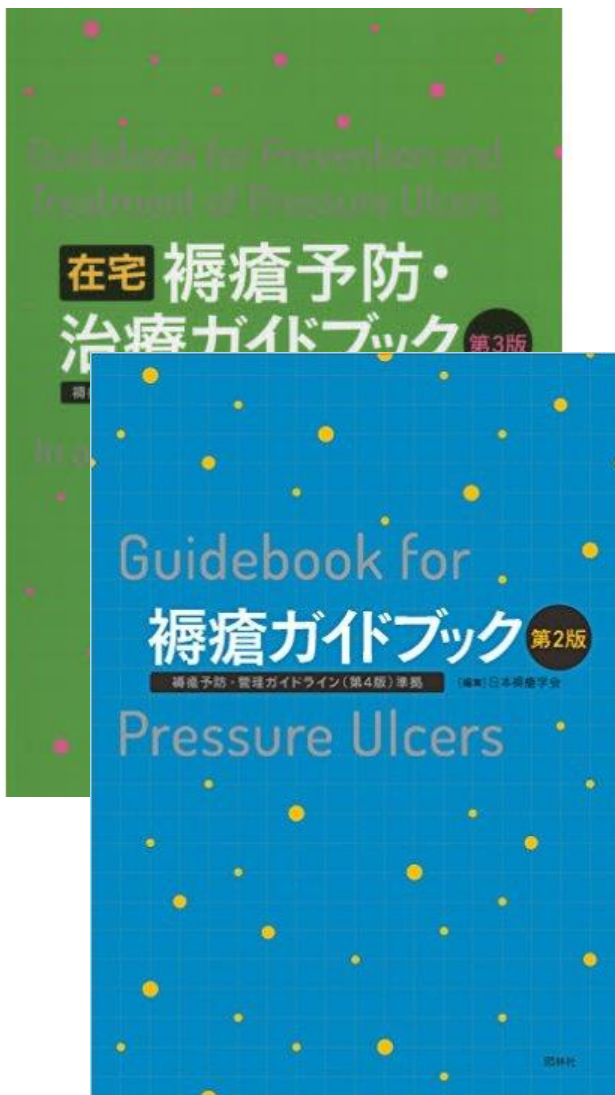
皮膚・排泄ケア特定認定看護師

鈴木由加

褥瘡予防・管理ガイドライン (第4版) 準拠



褥瘡予防・管理ガイドライン (第5版) 準拠



本日の流れ

1. 在宅褥瘡管理のための地域連携
2. 在宅褥瘡医療にかかわる各職種の役割
3. 在宅褥瘡医療を支える制度
4. 市原市ICT地域連携システム バイタルリンク®
5. 事例

1. 在宅褥瘡管理のための地域連携



地域包括ケアシステムと褥瘡対策



＊在宅における褥瘡対策は地域包括ケアシステムの一環である

＊質の高い医療を継続的に提供できるように褥瘡ケアに関わる様々な場所職種の人とともにネットワークを作る

治療面について困っている事

(訪問看護ステーション)

n = 1416 複数回答

種別	件数	%
①相談できる専門の医師がいない	439	31.0
②相談できる専門の看護師（WOCなど）がいない	430	30.4
③かかりつけ医が頼りない	479	33.8
④デブリードマンをしてくれる医師がいない	316	22.3
⑤セミナーや教科書と異なった処方や処置がされる	326	23.0
⑥使いたい薬剤や処置剤が使えない	589	41.6
⑦主治医と連絡がとれにくい	202	14.3
⑧ドレッシング材についてかかりつけ医と意見があわない	345	22.4
⑨ドレッシング材の調達方法に困っている	414	29.2
⑩その他	169	11.9

地域の課題に対して

- 1つの施設で解決するのは容易ではない
- 地域連携システムの中でそれぞれの医療機関の機能に応じた対応策、解決策を見出すことが可能
- 様々な意見を集約する仕組み→多職種カンファレンス
合同カンファレンス
- 褥瘡管理に関わる様々な場所や職種の人と共に、話し合う機会を作る
→ 個別性のある対象ならではの手法や工夫を模索
- 共通用語の必要性→褥瘡リスク予測スケール、褥瘡評価スケール等

2. 在宅褥瘡医療にかかわる各職種の役割



訪問看護師さんの役割

- 在宅療養者の生活を尊重しながら、褥瘡治療・ケアを生活の中に組み込んで管理
- していけるように支援すること

1. 医師との連携

在宅では慎重な判断が必要となる場面もあり日ごろから医師との連携を図る

2. 訪問看護指示書と特別訪問看護指示書

真皮を超える褥瘡は特別訪問看護指示書により月28日間連続で医療保険による訪問看護を提供できる

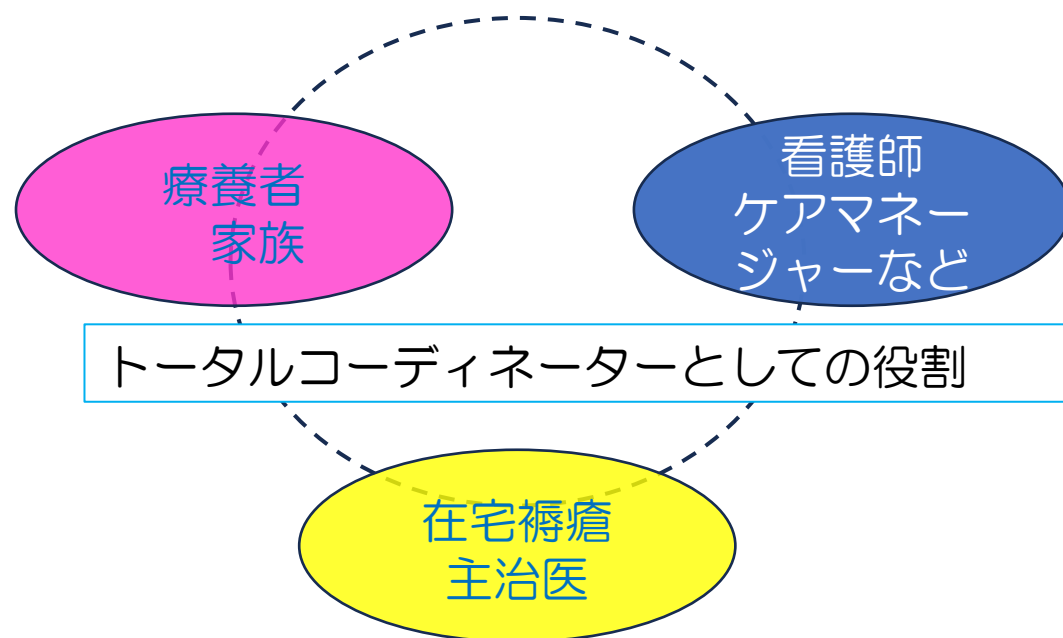
3. 療養環境の整備

- 主な役割
- ①局所ケア方法の検討（薬剤、被覆材、ケア頻度など）
 - ②使用材料 調達方法の確認（ドレッシング材、ガーゼ、テープ等）
 - ③緊急時の対処方法の検討
 - ④医師の診察の頻度の確認
 - ⑤家族の療養方針の調整を図る
（入院希望の有無、訪問看護の受け入れ状況など）

在宅褥瘡治療医の役割

➤ 往診で褥瘡の治療・予防に専従する医師。

(全身の治療・コントロールを行う主治医が別にいる場合もある)



在宅褥瘡管理の困難さ

- 必要なケアを継続して実施することは難しい
- 頭側挙上の角度 背抜き 圧抜き
- 日常的によく行われる姿勢動作のずれ・摩擦の軽減

ケアマネージャーさんの役割

- 要介護者本人の自己決定権を大切に、自立や尊厳を保持し
その人らしく暮らせるように支援する

具体的な業務

- ① 介護保険の利用に必要な情報提供
- ② 在宅療養者のいらいを受けて開始されるケアプランの作成
- ③ 様々なサービス事業所との連絡調整
- ④ 居宅介護サービスの実施状況の把握とケアプランの見直し

薬剤師さんの役割

➤薬物療法への介入

- ・局所治療
- ・全身治療

➤在宅での薬剤管理指導

特に注意を要する薬剤

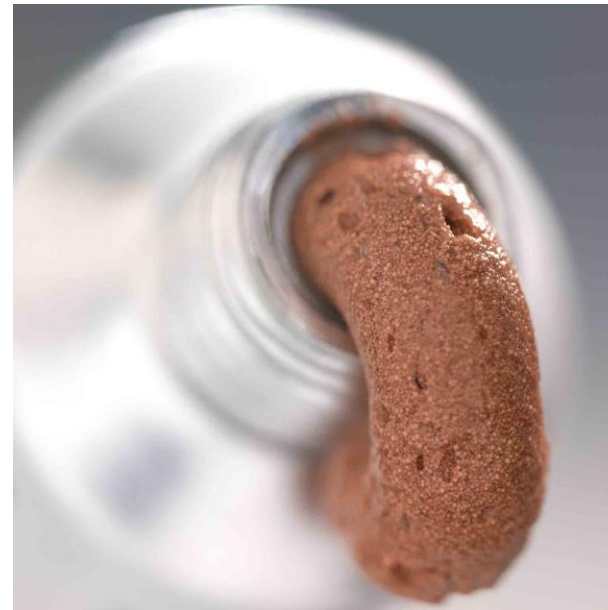
原因薬剤	原因	副作用	ADL QOLの影響
向精神薬 降圧剤 パーキンソン病治療薬	中枢作用 血圧低下	平衡機能障害	ふらつき 歩行障害
抗結核薬 抗コリン作用を有する薬剤	視力障害 緑内障悪化	眼機能障害	ふらつき 歩行障害
抗認知症薬 過量の下剤	コリン作動作用	下痢	全生活レベル低下 皮膚のただれ
抗ヒスタミン薬 尿失禁治療薬 抗うつ薬 胃腸薬	抗コリン作用	口渇 便秘	食欲不振 誤嚥 腹痛
脂質異常症薬 利尿薬	筋肉痛、 低カリウム血症	骨格筋機能障害	からだの痛み 力が入らない

Necrotic tissue (壊死組織) N→n	Inflammation/Infection (炎症/感染) I→i	Exudate (滲出液) E→e	Granulation (肉芽形成) G→g	Size (大きさ) S→s	Pocket (ポケット) P→(-)
			アルプロスタジルアルファテクス	アルプロスタジルアルファテクス	
カデキソマー・ヨウ素	カデキソマー・ヨウ素	滲出液が多い カデキソマー・ヨウ素	臨界的定着の疑い カデキソマー・ヨウ素		
				酸化亜鉛	
				ジメチルイソプロピルアズレン	
スルファジアジン銀	スルファジアジン銀	滲出液が少ない[感染創] スルファジアジン銀	臨界的定着の疑い スルファジアジン銀		
デキストラノマー		滲出液が多い デキストラノマー			
		滲出液が少ない[非感染創] トレチノイントコフェリル	トレチノイントコフェリル		滲出液が少ない トレチノイントコフェリル
			トラフェルミン		滲出液が少ない トラフェルミン
		滲出液が少ない 乳剤性基剤の軟膏			
			ブクラデシンナトリウム	ブクラデシンナトリウム	
ブロメライン					
	精製白糖・ポビドンヨード				
精製白糖・ポビドンヨード	精製白糖・ポビドンヨード	滲出液が多い 精製白糖・ポビドンヨード	精製白糖・ポビドンヨード		滲出液が多い 精製白糖・ポビドンヨード
			臨界的定着の疑い 精製白糖・ポビドンヨード		
ヨードホルム					

カテキソマー・ヨウ素 (カデックス)



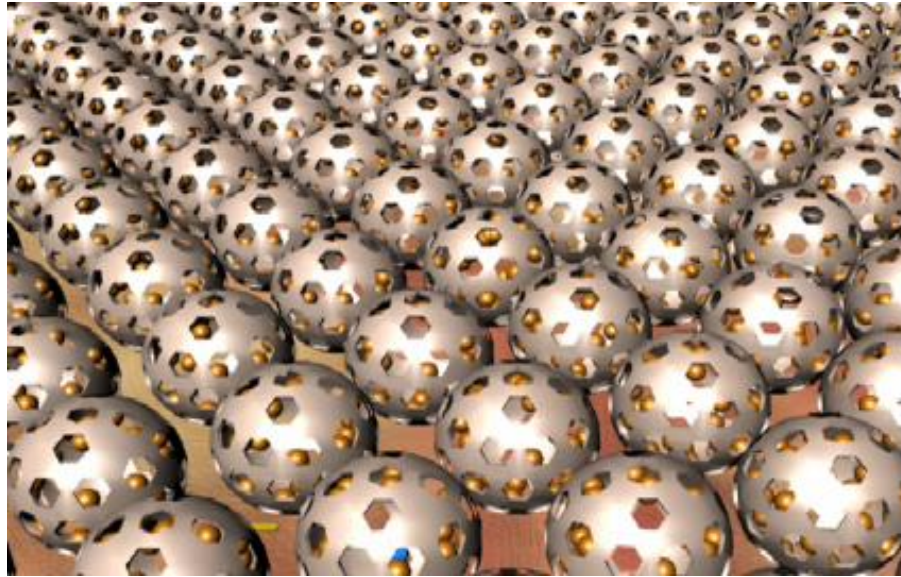
パウダータイプ



軟膏タイプ



カデックスの殺菌効果



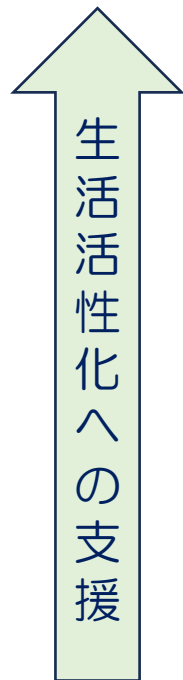
カデックス軟膏内のカデキソマーは、ビーズ内から24時間徐放性にヨウ素が創部に働きかけている。翌日、写真の周囲の黄白色に色調が変わっていることが適切である。中心部のように、茶色が強く残っている場合は、外用薬が滲出液に対して過剰であると考え、過剰塗布の影響は、創部を乾燥に傾けあるため治癒遅延の方向になるということ

理学療法士さん 作業療法士さんの役割

- 医師の指示によりリハビリテーションを支援する専門職として療養者に関わる

理学療法士と作業療法士の予防におけるかかわり

体圧分散	臥位姿勢のポジションニング検討
自力体位変換能力の獲得	褥瘡を予防するための動作練習
他動運動	緊張を和らげ関節を動かす方法を多職種や家族に助言
マッサージ	筋緊張をやわらげ静脈還流を改善する愛護的な四肢のマッサージ
移動動作	褥瘡発生前から離床を促し生活活性化を図る環境調整を含めた安全な介助法を家族に指導



手段的日常生活動作
(IADL) の訓練
掃除、洗濯、料理、買い物

日常生活動作 (ADL) の訓練
食事、排泄、入浴

身体機能回復訓練
関節可動域訓練 歩行訓練

座面 体圧分散



製品情報

サポート情報

お問い合わせ

健康用品事業本部について

関連リンク

サイトポリシー

ポジショニングケア用品 車いす用クッション

パワークッション

生活の中で椅子や車いすに長時間座っている人のために「体圧分散性」「自動体圧調整」「除圧」の3要素で、おし痛みによる姿勢の崩れや「床ずれ」の不安を軽減する車いすクッション

介護保険福祉用具貸与品 / 車いす付属品

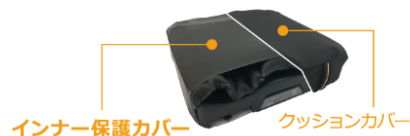
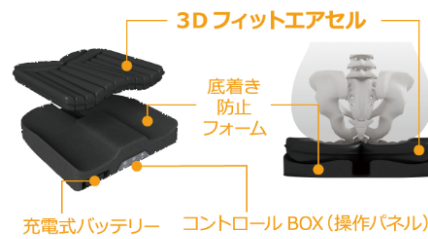
障がい者総合支援 / 座位保持装置完成用部品 (ノーマルタイプのみ)

対象者 車いすや座位の姿勢で長時間過ごす人、プッシュが必要な人

体圧分散性能

3Dフィットエアセルが大腿部・坐骨部・尾骨部を包み込むように支え、体圧を分散させます

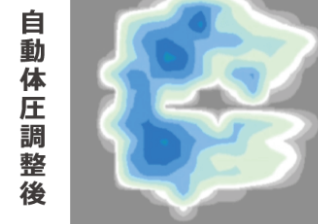
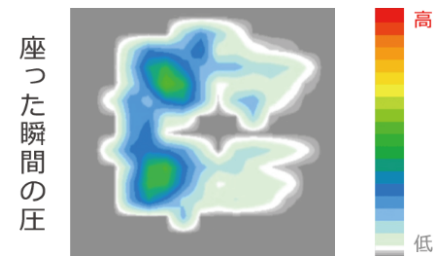
内部構造



清拭しやすいインナー保護カバーにより、臭いや汚れを長期間防ぎます

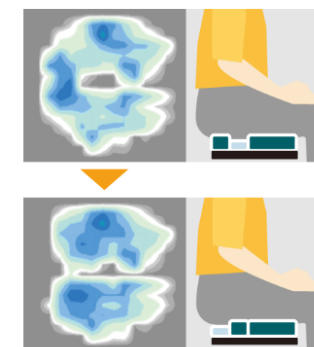
自動体圧調整

誰が座っても最適な体圧分散になるように自動で調整します



除圧性能

3Dフィットエアセルの圧切替により尾骨部の除圧を自動的に行います。プッシュアップと同様の効果です。



お問い合わせはこちら

モルテン オンラインショップ

被服
151
50kg
BMI 21.9

充電式バッテリー



電池残量の確認
パワークッション底面の窓からLEDの点灯で電池の残量が確認できます



管理栄養士さんの役割

- ①栄養アセスメントを実施 栄養診断 ゴール設定
- ②適正な栄養量の算定と栄養摂取量の調査
- ③適正な栄養補給法の指導
- ④食形態の適正化 摂食・嚥下機能低下に対する援助
- ⑤慢性疾患に対する食事療法の指導
- ⑥調理実技を介した指導
- ⑦食事環境の工夫 食行動の変容支援
- ⑧家族（介護者）への援助
- ⑨治療用食品、経腸栄養剤、栄養補助食品などの宅配の紹介
- ⑩食生活の栄養改善に役立つ公的制度や民間サービス制度の紹介
活用法の指導
- ⑪在宅褥瘡対策メンバーとして①～⑩を実施

3. 在宅褥瘡医療を支える制度



病院の役割

- 地域での褥瘡医療、ケアの重要な担い手でなくてはならない。
 - 地域の医療機関との連携を図り、在宅主治医を支援する役割
 - 全身状態の悪化に対する入院の検討
 - 入院早期からの退院支援、退院調整
 - 地域包括ケアシステム、地域完結医療の推進
-
- ① 褥瘡専門外来を受診する場合の連携
バイタルリンク上の相談 地域医療連携室への相談 から開始。
 - ② 褥瘡をもって退院する場合の連携
 - ③ 専門性の高い看護師による連携

4. 市原市ICT地域連携システム バイタルリンク®





専門職が地域でつながる
患者さん中心につながる

市原市

在宅医療・介護連携推進会議
ICT普及部会

📅 2020/01/17(金) 📄 バイタル:0件



市原市役所
地域包括ケア
推進課

件名：情報共有やご相談で活用ください

創傷（褥瘡）やオストミー、失禁に関する相談や情報共有ができる部屋です

。千葉県循環器病センター特定看護師・皮膚排泄ケア認定看護師の鈴木看護師長が登録いただいておりますので、皆様、是非ご活用ください！ 市原役所
地域包括ケア推進課 亀山

⌵ 閉じる

👤 既読 2/2人 11:20 🗨️

アイウエオ
氏名 分類・注釈 カルテID 施設・診療科 休止を含む
日付選択... 予定 クリア

📄	☆	氏名	年齢	重	連	バ	分類・注釈	カルテID	施設・診療科	主治医	主ケア
		研修会PRの部屋	72歳								
		口腔会話嚥下相談	72歳								
		災害の部屋	72歳								
		創傷・オストミー・失禁の部屋	72歳								
		ダミー事例 市原太郎 (閲覧用)	88歳								
		認知症の部屋	72歳								
		バイタルリンク設定 手順保管ページ	3								



コジマヨシオ (36年)11月15日 (85歳) 分類・注釈:

患者情報 連絡帳 バイタル おくすり カレンダー まとめ

📅 2022/03/06(日) 📊 バイタル:0件

看護師
 特定看護師・皮膚排泄ケア認定看護師 鈴木由加

ご連絡ありがとうございます。
 中3日での交換で、面板の汚染が均等なので効果ありですね。近接部の皮膚トラブルが軽減できてよかったです。用手形成皮膚保護剤はやはり、密着効果がありそうです。循環器病センター 鈴木由加



👤 🔄 📄 既読 2/2人 2022/03/06(日) 20:00

📅 2022/03/02(水) 📊 バイタル:0件

看護師
 セントケア訪問看護ステーション市原

件名: 訪問しましたので報告します。

月曜日に、中3日で交換しています。9時方向はやはり潜りは少なく、皮膚状態も良いです。今回も1時方向に潜りが見られたので保護材を1枚使用し、7~4時方向に保護材を付けてみました。パウチ外側の発赤と痒みは消失されています。鈴鹿

DSC_2456.JPG 0.42MB DSC_2458.JPG 0.33MB

アイウエオ 氏名 分類・注釈 カルテID 施設・診療科 休止を含む 日付選択... 予定 クリア

氏名	年齢	重連バ	分類・注釈	カルテID	施設・診療科	主治医	主ケア
太郎	96歳						
枝子							
三							
み子							
重							
循環器病セ							
ンターからのお知ら							

947年)05月23日 (74歳) 分類・注釈:

患者情報 連絡帳 バイタル おくすり カレンダー まとめ



看護師

バナナの葉訪問看護ステーション

件名: 仙骨部の経過です。

いつもお世話になっております。

12日と19日訪問時の仙骨部褥瘡の経過で先週は、水曜日の看護師訪問時と週末の...の溶けは1cm×1cm程度でした。

続きを読む



IMG_1713飯塚さま5.12. Photo_21-05

JPG 0.41MB



50.563飯塚さ

MB

右側臥位のポジショニング



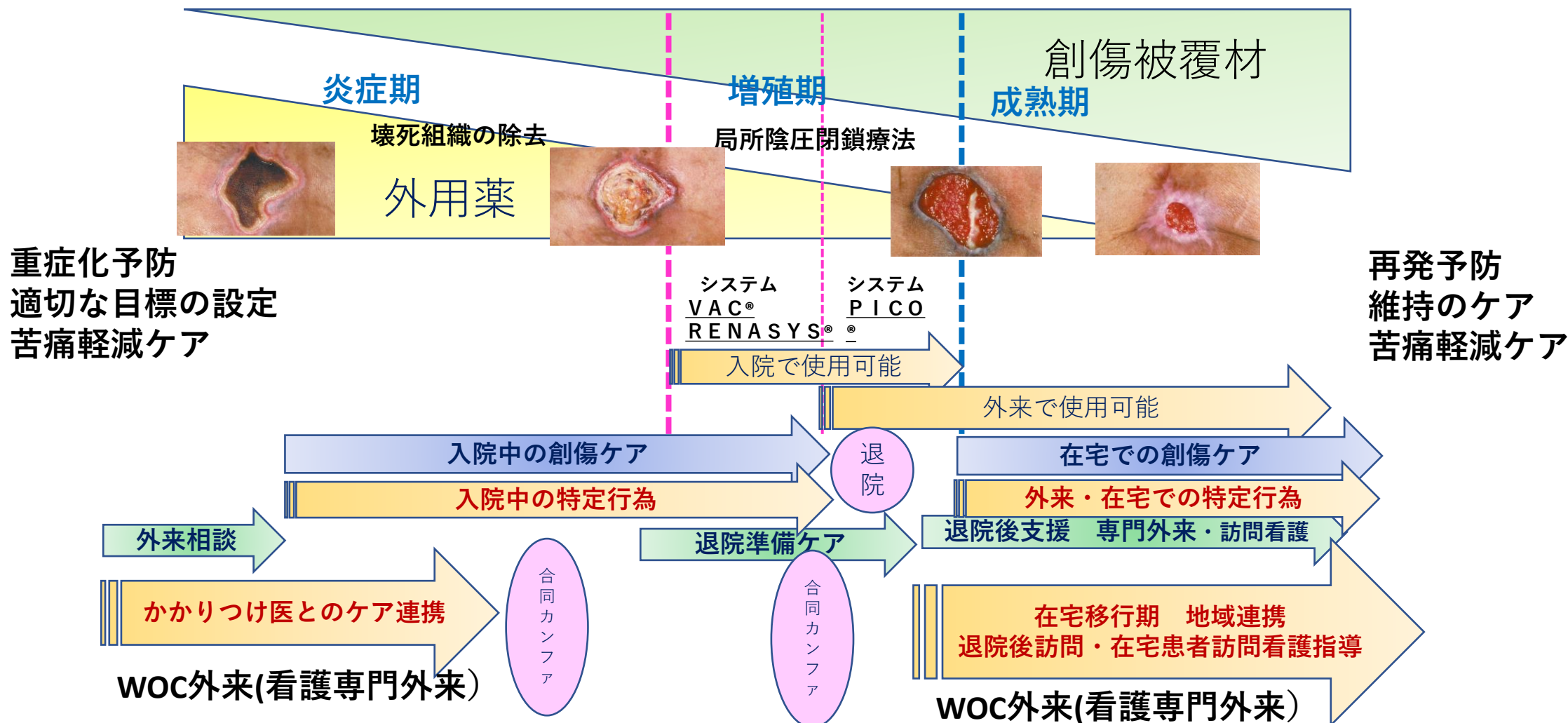
左肘が伸びるようにして腕から手にかけてクッションを挟む。

左肩から左臀部に隙間があかないようクッションを敷く。

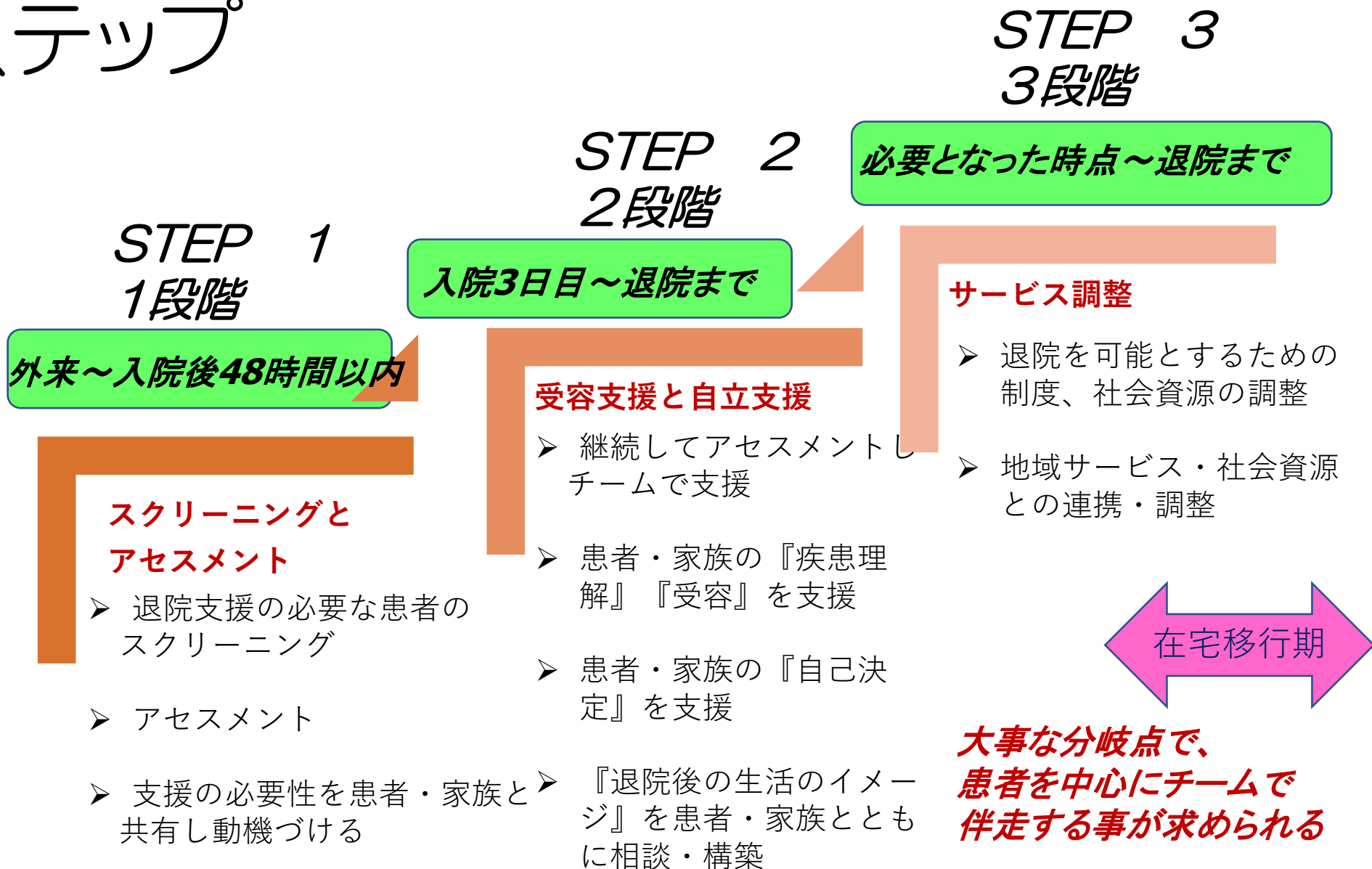
WOC看護専門外来の意義（WOC外来）

安心して在宅療養、在宅医に移行するために、移行期のWOCによる専門外来は重要な役割を持っている。在宅療養中の重症化、難渋に対する相談窓口である。

創傷治癒促進を目指す治療ケアの基本



退院支援・退院調整の 3ステップ



5. 事例で考えよう



縦割りのマーケットセグメンテーションから 横割りのマーケットセグメンテーションへ

(主に下肢潰瘍においては)

